西宮だより

発行　杉並区立西宮中学校
令和５年度（2023）１月号
http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

波乱の年明け　困難に負けず成長の年に

校長　宮崎　宏明

大宮前　春日神社
手水舎の龍

新年・新学期が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。令和６(2024)年は甲辰（きのえ・たつ）で、恥ずかしながら一巡回って私の干支となりました。

甲は始まりや優勢を示し、辰（龍）は十二支の中では唯一架空の生き物であり、神として大自然の躍動を象徴しています。転じて伸長、形整、活気を表すそうです。

とはいえ、元日から能登半島を中心とする大地震、２日には羽田空港で航空機の衝突事故が起こるなど波乱の年明けとなりました。ご関係の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の皆様のご健康と一日も早い復興をお祈りしております。

○　誰かの役に立ちたいという優しさを持つ西宮中生

例年のことですが、11 月下旬から 12 月にかけて、校長は３年生全員を対象に面接練習を行いました。もちろん高校入試を意識してのことですが、志望校の入試に面接がない子どもについても、志望動機や将来の夢、中学時代に努力したことや楽しかったこと、自分の長所と短所などについて話をしてもらっています。

特に楽しみにしているのが将来の夢です。はっきり意識している子どももいれば、これから様々な経験をして考えていきたいという子どももいます。そんな中で毎年特に感心するのが誰かの役に立ちたいという子どもが多いことです。その誰かとは、困っている人であったり身近な人であったり、さらには国境を越えて戦争や貧困に苦しんでいる人であったりします。時にはその誰かが動物や環境であることもありました。また、漠然と役に立ちたいという子どももいれば、具体的な技能を身に付けて問題を解決したい、人を笑顔にしたいという子どももいました。

○　世界を舞台に活躍したいという気概を持つ西宮中生

面接で気づくのもうひとつの特徴として、海外に行って活躍したい、海外とつながりをもって活躍したいという子どもが多いことが挙げられます。最近でこそ、日本の賃金の伸びが低迷する中、高収入を求めて海外で働こうとする若者が多くなったという話を聞くようになりましたが、その少し前は、日本の若者は内向き傾向で、海外への留学も減っているということが話題に挙がりました。コロナ禍がこうした傾向に拍車をかけたようにも思えます。国連職員数についても、日本の経済規模やお金を拠出している割に少ないという指摘もありました。

こうした中、グローバル社会での活躍を志向する西宮中生には頼もしさを感じます。個人的な冒険心や向上心もあるでしょうが、多くの子どもの口から「異なる価値観をもつ人々と交流して理解を深めたい」または先ほども触れた「（国境を越えて）誰かの役に立ちたい」という思いを聞くことができました。

○　海外で活動することによって（講師のお話より）

昨年の 11 月 25 日(金)、２年生を対象にＳＤＧｓに関わる国際理解授業を実施しました。シニアボランティアとして、タイでの活動経験がある先生からは環境改善について、シリアでの活動経験のある先生からは平和と紛争下の生活についてご講義いただきました。ご講義の最後に、２年間の海外でのボランティア活動を振り返り、子どもたちへの期待を込めて次のようなお話がありましたのでご紹介します。

- タイ人と接して楽しい思い出も多くでき、**人生を楽しむ方法を学び**、ボランティアは有意義でした。
- 皆さんも将来海外に住むことを経験すると、日本で暮らす外国人をよく理解でき、また**世界の人は皆同じで仲間だ**と知り、安心すると思います。
- 国際協力を通して、日本及日本人と仲良く暮らす国々及びその国の人々を多く増やし、人生を楽しく**幅広く生きていきたい**。

○　龍の出現は良いことの前触れ（奇瑞）です

確かに波乱の年明けとはなりましたが、古来龍の出現は良いことの前触れと捉えられてきました。よって、辰年は「強運」や「金運」に恵まれると言われ、株式相場では景気が上向く縁起の良い年とされているそうです。

西宮中の子どもたちには、辰年を龍の出現と捉え、様々な困難を乗り越えながらも、コロナ禍によって内向きになりがちだった視線を外に向け、広い視野で世界を見渡し、積極的に行動していく力を養っていって欲しいと願います。子どもたちが昇り龍のごとく成長できるよう、教職員一同全力で支援してまいります。

杉並区中学校駅伝大会

毎週火曜,金曜 7：40 から、サポートメンバーも含め、朝練習を行いました！
みんなで声を掛け合い、切磋琢磨している姿が素晴らしかったです！

今年の杉並区中学校駅伝大会では、みんなで想いを繋ぎ、女子が念願の優勝を勝ち取ることができました。第２区、第３区、第４区で区間賞をとり、優勝に大きく貢献してくれました。第１区、第５区を走った２人も、素晴らしい走りで優勝に大きく貢献してくれました。男子は入賞はできなかったものの、昨年から大きく順位を上げ、13 位を獲得することができました。この結果も、一緒に練習してくれたサポートメンバーやたくさんの応援があったからこそだと思っています。応援してくださった皆さん本当にありがとうございました。また走ったメンバーや補欠、そしてサポートメンバーの皆さんお疲れさまでした！

（保健体育科）

落ち葉掃きプロジェクト（生徒会）

１２月４日から７日、１２月１１日の計５日間、ボランティア生徒による学校近辺の落ち葉掃きを行いました。１日３０分程度の活動ですが、生徒会役員が中心となり、生徒たちが自主的に動いて活動したため、落ち葉をいれたゴミ袋が、いくつも山積みになっていました。黙々と作業する生徒、友達と楽しみながら作業する生徒と、様々でしたが、みんな、とても意欲的に活動していました。そしてこんなにも多くの生徒が参加してくれました。（生徒会担当）

小笠原自然体験交流結団式

１２月８日（金）、杉並区役所にて、令和５年度杉並区中学生小笠原自然体験交流事業（第１２期）の結団式が行われました。今年度は、本校から２年生生徒が派遣生徒として選ばれました。

今後、事前学習を行い、３月の出発に向けて準備を進めます。派遣期間は令和６年３月２１日（木）から２６日（火）までの５泊６日です。多くのことを学んで、成果を学校にもち帰ってほしいと思います。（副校長）

中学生レスキュー隊訓練

１１月２８日（火）の放課後、本校の中学生レスキュー隊員が、西宮中震災救援所連絡会役員の皆様の指導を受けて、訓練を行いました。まず、災害時に校内の水道が断水した場合に、受水槽から飲料水を給水する訓練を行いました。マニュアルを見ながら、受水槽にポンプをつなぎ、水を取り出す方法を学びました。次に、個食用災害食に沸騰した湯を注いで防災食をつくりました。感染防止の観点から防災食が個食に置き換わっていることを学びました。　　（レスキュー隊担当）

能楽ワークショップ　第３学年

　毎年３学年を対象に実施しています。今年度も講師として、公益社団法人能楽協会会員シテ方金春流の先生方をお招きして能楽ワークショップを開催しました。

　今年度は各代表者が面（おもて）、舞の体験を全体で謡の体験をしました。舞の代表者は４０分という短い時間の中で「羽衣」という能の一部を覚え、体育館で披露しました。普段、なかなか触れることのできない能の体験に、３年生も興味津々でした。（音楽科）

＜部活動の大会結果＞

女子バスケットボール部

杉並区新人大会　優勝（都大会出場）

男子バスケットボール部

杉並区新人大会　準優勝（都大会出場）

《１月の主な行事予定》

○　７日（日）冬季休業日　終
○　８日（月）成人の日
○　９日（火）始業式　学年時間割
○１５日（月）全校朝礼　安全指導　専門委員会
○１６日（火）避難訓練
○１８日（木）中央議会
○１９日（金）英語検定
○２２日（月）生徒会朝礼
○２４日（水）職員連絡会
○２６日（金）都立学校推薦検査　始
○２７日（土）都立学校推薦検査　終
　　ウィンターコンサート　始
○２８日（日）ウィンターコンサート　終
○２９日（月）校内研修会
○３０日（火）移動教室前健康相談（２年）